

ハイブリット研修 開催報告

日時：令和5年 10月 13日（木）17：30～19：00

会場：北見赤十字病院 北館3階 大会議室

内容：認知症疾患医療連携研修会（ハイブリット研修）

研修テーマ：『せん妄ケアについて』

上記内容にてWeb会議システムを活用し、関係者向けハイブリット形式の研修会を開催致しました。オホーツク管内の医療・介護・福祉に従事する関係者62名（会場24名、Web38名）の参加がありました。

今回の研修会は、当院認知症看護認定看護師 河合愛より「せん妄ケアの基本」と題し、せん妄と認知症の違いや、せん妄の準備因子・誘発因子・直接因子について説明があり、せん妄の予防・早期発見・早期対応の重要性についてお話ししました。続けて当院認知症看護認定看護師 看護係長 太田くりより「せん妄の予防とケア」と題し、全身評価のポイント、介護・看護の場面に応じた具体的対応について事例を交えお伝えしました。

終了後のアンケートでは、「せん妄の基本が理解できた。発症要因を取り除いたり、不安を和らげることが改善につながるということがわかった。大変勉強になった。」「リアリティオリエンテーションなど今後の業務で活かせる内容が多くあった。とても良い研修だった。」「身体的アセスメントをきちんと行いたい。職員にも伝達報告を行いたい。」「興味深い内容だった。」等の感想をいただきました。また、Webの参加方法について「参加しやすい」「ハイブリット研修を継続してほしい」との意見がありました。



今年度の残りの研修会は、講義形式のハイブリット研修となります。研修会の詳細が決まり次第、関係機関へご案内させていただきます。次回もたくさんの方の参加をお待ちしております。

（認知症疾患医療センター事務局 伊藤記）